

# Red Hat OpenShift Virtualization Engine

コスト効率の良い柔軟な仮想化で、先進的な組織に対応

Red Hat OpenShift  
Virtualization Engine のみで、  
VM を移行、デプロイ、管理できる  
方法を詳しくご紹介します。

**Red Hat OpenShift  
Virtualization Engine  
について、その他に疑問や  
質問をお持ちですか？**  
[FAQ](#) をご用意しています。

Red Hat® OpenShift® Virtualization Engine は、仮想マシン (VM) のデプロイおよび管理の単純化に特化した仮想化製品です。OpenShift Virtualization Engine により、不要なオーバーヘッドと複雑さを軽減して、スタンドアロン仮想化、仮想化移行、高密度ワークロードに求められるスケーラビリティと信頼性を確保できます。

## 仮想化を単純化

OpenShift Virtualization Engine は、Red Hat OpenShift Container Platform と Red Hat OpenShift Platform Plus など、すべての Red Hat OpenShift エディションと同じ仮想化コア機能 (Red Hat OpenShift Virtualization) を備えています。OpenShift Virtualization Engine のデプロイと管理には、Amazon Web Services OpenShift のベアメタルデプロイと同じプロセスとツールを使用します。Amazon Web Services (AWS) ベアメタルインスタンスといったサポート対象ベアメタルサービスでのデプロイとも同様ですが、VM にのみ重点が置かれています。組織のニーズの変化に合わせて、コンテナ化とモダナイゼーション機能を備えた他の Red Hat OpenShift エディションもご検討いただけます。

OpenShift Virtualization Engine は、数十年にわたるオープンソース・イノベーションの主導と、Red Hat の[信頼できるサポート](#)に裏打ちされている上、グローバルパートナーエコシステムで提供されるバックアップ、ストレージ、ネットワークなどの補完的技術によって、さらなる強化が可能です。重要な VM ベースのワークロードを管理する場合も、インフラストラクチャを拡張する場合も、Red Hat は、実証済みのパフォーマンスおよび柔軟性を提供し、お客様独自の仮想化環境の構築を後押しします。

OpenShift Virtualization Engine は、ベアメタルサーバーに最適化されているため、限られたスペースでもインフラストラクチャを最大限に活用できます。また、ベアメタルソケットあたり 128 コアに対応し、先進的な高コアサーバーの活用や、必要な物理スペース縮小によるノード密度向上に加え、必要なサブスクリプション数削減によるコスト効率向上を可能にします。ベアメタルデプロイ向けのシンプルなライセンスモデルを採用しているため、コアベースのサブスクリプションを使用して仮想クラスターをいつでも柔軟に追加できます。このアプローチなら、必要なリソースにのみ投資して、コスト効率良く仮想化環境を拡張することが可能です。

## 仮想化環境間で一貫性を確保

OpenShift Virtualization Engine は、VM のホスティングと実行にカスタマイズされた Red Hat OpenShift エディションです。このエディションでは、ベアメタルクラスターのデプロイ方法として、Assisted Installer、エージェントベースのインストーラー、インストーラー・プロビジョニング・インフラストラクチャ、ユーザー・プロビジョニング・インフラストラクチャを使用します。クラスター機能の追加には、これまでどおり OpenShift のオペレーターセットを使用できます。OpenShift Virtualization Engine は、仮想化のユースケース向けに設計され、必要な機能をすべて備えているため、不要な機能への投資が生じません。

表 1 に、Red Hat OpenShift Virtualization Engine に関するその他の特徴や機能を示します。

表 1. 搭載機能

| 特長                | メリット                                                                                                                                                        |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| コンソールベースの仮想化管理    | 仮想化コンソールは、仮想化の管理者およびユーザーにとって最も重要なコンポーネントを重視してカスタマイズされています。                                                                                                  |
| VM に適した高可用性 (HA)  | Red Hat OpenShift のネイティブ機能が、ノードフェンシングとワークロードリカバリーを可能にします。                                                                                                   |
| リソースの分散           | デスケジューラーとエビクションポリシーを使用してクラスタリソースを調整すると共に、Pod をより適切なノードに再スケジューリングして競合を回避します。                                                                                 |
| ストレージ消費の分析および管理   | コンテナストレージ・インタフェース (CSI) パラダイムにより、スナップショットやクローンといったストレージの各種機能を、ディスクごとに非常に細かく設定できます。                                                                          |
| ホストネットワークの構成可能性   | Kubernetes NMState オペレーターにより、ラベルとセレクターを使用してネットワーク構成を適用し、対象ノードとそれに必要な構成を自動的に識別できます。                                                                          |
| VM の接続            | Open vSwitch (OVS) を使用して、仮想ローカル エリア ネットワーク (VLAN)、他の外部ネットワーク、Open Virtual Networking (OVN)-Kubernetes (Red Hat OpenShift ソフトウェア定義ネットワーク) を接続し、クラスタ内通信を行います。 |
| グローバル接続ルール<br>の管理 | VM ごとおよびプロジェクトレベルごとのネットワークポリシーにより、プラットフォームレベルでグローバル接続ルールを適用することも、VM 管理者独自のルールを定義および管理することもできます。                                                             |
| 監視およびロギング         | Red Hat OpenShift のワークロード監視およびクラスタログ記録の機能により、ネイティブのダッシュボードと統合ツールを使用して、問題の確認、評価、対処を行います。                                                                     |



# Red Hat OpenShift Virtualization Engine

データシート

## お勧めする次のステップ

- ▶ **読んで学ぶ**: OpenShift Virtualization Engine によってお客様の企業でどのように仮想化を実現できるかをご説明します。e ブック「[Red Hat OpenShift Virtualization を導入すべき 15 の理由](#)」をぜひダウンロードください。
- ▶ **体験してみる**: [Red Hat OpenShift Virtualization ロードショー](#)のワークショップに参加して、OpenShift 仮想化ソリューションを実際にご体験ください。
- ▶ **操作して試す**: VM を OpenShift Virtualization に移行する方法の[概要デモ](#)を、クリックしながらご覧いただけます。



## Red Hat について

エンタープライズ・オープンソースソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。[受賞歴のあるサポート](#)、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、[フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザー](#)であり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

### アジア太平洋

+65 6490 4200  
[apac@redhat.com](mailto:apac@redhat.com)

### オーストラリア

1800 733 428

### インド

+91 22 3987 8888

### インドネシア

001 803 440 224

### 日本

03 4590 7472

### 韓国

080 708 0880

### マレーシア

1800 812 678

### ニュージーランド

0800 450 503

### シンガポール

800 448 1430

### 中国

800 810 2100

### 香港

800 901 222

### 台湾

0800 666 052

**f** [fb.com/RedHatJapan](https://fb.com/RedHatJapan)  
**✕** [twitter.com/RedHatJapan](https://twitter.com/RedHatJapan)  
**in** [linkedin.com/company/red-hat](https://linkedin.com/company/red-hat)

[jp.redhat.com](https://jp.redhat.com)  
#0000000\_0020

Copyright © 2025 Red Hat, Inc. Red Hat, Red Hat ロゴ、および OpenShift は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。Linux® は、米国およびその他の国における Linus Torvalds 氏の登録商標です。